

新型コロナ対応の勾留質問・事務処理手順

令和4年3月

千葉地裁松戸支部刑事部

松戸簡裁刑事係

第1 被疑者の体調等の現状把握

1 検察庁から情報提供があったら、以下の点を聴取する。

☐ 被疑者氏名

☐ 勾留請求日

☐ 被疑者等の体調（発熱、咳その他の症状の有無、状態）

☐ 各種検査（抗原検査、PCR検査）実施の有無、結果

☐ 検察庁での弁解録取時の対応（リモートか否か）

☐ 警察の身柄押送対応状況（単独押送か、身柄の待機場所は車内か 等）

2 連絡を受けた日の勾留担当の裁判官に聴取内容を伝え、勾留質問の実施方法につき指示を仰ぐ。

〈選択肢〉◎面会室で実施（被疑者と同室に入らずアクリル板越しに）

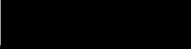
・勾留質問室で実施（通常どおり）

3 勾留質問の実施方法を、検察庁に電話で伝える。その際、被疑者のマスクの着用が確実にされるよう要請する。

4 上記1～3の内容を事務処理チェック表に記載する。なお、事務処理チェック表は当直日誌に綴り、後任の当直員及び刑訟に引き継ぐ。

～～以下は、面会室で勾留質問実施の場合の対応方法～～

第2 面会室で勾留質問実施するための準備

にある面会室の鍵を持って勾留質問室へ行き、勾留質問室に備え置いている以下の物品を面会室に移動させる。面会室、前室の電気もつける。

☐ ゴム印

☐ スタンプ台

☐ 朱肉

☐ 身柄入れ替え用チャイム（面会室で使用可能なことは、刑訟で確認済）

※アクリル板が設置された面会室では、被疑者がマスクを着用していれば、職員がゴーグル、防護服や手袋等を使用する必要はない。

第3 勾留請求の受付、勾留状等の起案

通常の事務処理は、

「当直における令状事務について」P. 5～7

通常の事務処理との相違点は、以下のとおり

1 勾留質問調書の読み聞かせ文言の訂正

「以上のとおり読み聞かせたところ、相違ない旨申し立て署名指印した。」

を、以下のいずれかの方法で変更又は訂正する。

(1) 起案時に、

を開き、「以上のとおり読み聞かせたところ、相違ない旨申し立てたが、被疑者の感染症り患の疑いにより、裁判官の指示により代書した。」文言を 勾留質問調書の (別紙1)。

(2) 勾留質問調書印刷後、「署名押印をした。」を抹消し、「たが、被疑者の感染症り患の疑いにより、裁判官の指示により代書した。」を手書きで加える (別紙2)。

2 国選弁護人請求書・資力申告書の準備

「国選弁護人請求書・資力申告書」が予め提出されていない場合は、勾留質問時の面前請求に備えて「国選弁護人請求書・資力申告書」（面会室実施時）を準備しておく。なお、予め提出されている場合は、通常どおりの処理

でよい（別紙3）。



- ・紙媒体：刑訟から下ろす「勾留（感染予防対応）」ファイルから取り出す。

第4 勾留質問の開始直前

- 1 当該被疑者の勾留質問の準備ができたなら、検察庁に電話で連絡する。

身柄到着までの流れは通常の勾留質問と同じ（「当直における令状事務について」P. 7～8）だが、当該被疑者の勾留質問は、他の事件と切り離して¹行う。

- 2 押送の警察官から勾留質問の準備ができた旨の内線電話があったら、被疑者が面会室に在室しているか、念のため確認する。

- 3 一件記録、筆記用具、印鑑及び面会室の鍵を持って、面会室へ行く。面会室へは [redacted] を通り、当該被疑者の動線と重ならないようにする [redacted]。

[redacted] となっているため、入室時は [redacted]
[redacted]，退室時は [redacted] する。

第5 勾留質問

通常の事務処理は、「当直における令状事務について」P. 8～10 参照

通常の勾留質問との相違点は、以下のとおり

- 1 勾留質問調書の読み聞かせ（別紙1，2）

- (1) 勾留質問調書を読み聞かせて（又はアクリル板越しに見せて）、内容に間違

¹ 他の事件の勾留請求もある場合、当該被疑者の勾留質問及び後片付けが終わってから他の被疑者を呼ぶ等して、当該被疑者と他の被疑者の勾留質問が時間的に近接しないようにする。

いがないか被疑者に確認する。

(2) 被疑者署名欄に、書記官が代書する。

(3) 調書読み聞かせ文言が「以上のとおり読み聞かせたところ、相違ない旨申し立てたが、被疑者の感染症り患の疑いにより、裁判官の指示により代書した」に訂正されているか確認する。

(4) 調書読み聞かせ文言の直下に、書記官が署名押印する（「裁判所書記官」の官職の記載は不要。）。

2 国選弁護人請求を勾留質問時に希望した場合（別紙3）

(1) 被疑者から「請求の理由」及び「資力」を聞き取り、被疑者の署名も含めて、書記官がすべて代書する。

(2) 「被疑者の感染症り患の疑いにより裁判官の指示により代書した。」の右横に書記官が署名押印する（「裁判所書記官」の官職の記載は不要。）。

3 接見等禁止決定をする場合、当該被疑者への決定謄本の交付送達はしない。
当該被疑者用の決定謄本は、接見等禁止請求書・決定原本とともに刑訟に引き継ぐ（翌開庁日に刑訟から特別送達する。）。

第6 勾留質問終了後

1 身柄入れ替え用チャイムのボタンを押し、押送の警察官に手続終了を知らせ、入室してもらう。

2 一件記録、筆記用具、印鑑及び面会室の鍵を持って、当直室に戻る。

■となっているため、■を面会室内に置き忘れないようにする。

3 当直室に戻ったら手洗いを励行し、手洗いがすぐにできない状況では、手指をアルコール消毒液で消毒する。

※備品の後片付け、面会室の消毒作業は後で行い、勾留や令状、被疑者国選等の事務処理を最優先させる。

第7 勾留通知，勾留状の点検，被疑者国選弁護人指名依頼等

通常の事務処理は，「当直における令状事務について」P.10～15 参照

通常の事務処理との相違点は，以下のとおり

法テラス千葉への指名依頼FAX送信前の電話連絡時，「被疑者●●については，裁判所では直接被疑者と接しない形で勾留質問を実施しました」と言い添える。これ以上の情報を聞かれても「個人情報のため，これ以上は答えられない」旨を伝える。

※口頭連絡のみで，指名通知依頼書には記載しない。

第8 後片付け

面会室に移動させたゴム印，スタンプ台，朱肉及び身柄入れ替え用チャームを勾留質問室に戻す。

第9 面会室及び被疑者が触れた箇所の消毒作業

(自動で機械換気されるので，被疑者退室後，閉扉した状態で放置する。)

- 1 当直室ロッカーに備え付けのアルコールウェットティッシュを用いて，被疑者が触れた箇所（椅子，机等）を消毒する。
- 2 消毒作業が終わったら，面会室・前室を消灯する。
- 3 拭き取ったウェットティッシュは，当直室ロッカーに備え付けのごみ袋を二重にしたものに入れて，口をきちんと縛って密閉する。ごみ袋は1階屋内ごみ集積所に捨てる。

第10 宿直員，刑訟等への引継

- 1 事務処理チェック表に，「新型コロナ対応の勾留請求があり，面会室で勾留質問を実施したこと」や「面会室の消毒作業が済んでいるか否か」等を記載す

る。事務処理チェック表は当直日誌に綴る。

2 面会室等の消毒作業が済んでいないときは、当日の宿直員が消毒作業をする。

3 刑訟職員は念のため、翌開庁日に面会室の消毒作業をする。

以 上

(別紙 1)

裁判官認印



勾 留 質 問 調 書

被疑者 ■■■■■■

被疑者に対する■■■被疑事件について、令和●年●月●日松戸簡易裁判所において、

裁 判 官 ▲ ▲ ▲ ▲ は、
裁判所書記官 ● ● ● ● を

立ち会わせて、被疑者に対して次のように質問した。

問 氏名、年齢、住居及び職業について述べてください。

答 勾留請求書記載のとおり

裁判官は、終始沈黙し、又は個々の質問に対し陳述を拒むことができる旨を告げ、勾留請求書記載の被疑事実を読み聞かせた。

問 検察官からこのような事実について勾留の請求があったが、これに対して何か述べることはないですか。

答

裁判官は、弁護人選任権を告げ、弁護士、弁護士法人又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先を教示し、また、国選弁護人選任請求権を告げ、弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、千葉県弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨を教示し、勾留した場合の通知先を尋ねたところ、

答 勾留通知は、

以上のとおり読み聞かせたところ、相違ない旨申し立てたが、被疑者の感染症り患の疑いにより、裁判官の指示により代書した。

● ● ● ● (印)

(事由記載+署名押印(刑訴規61Ⅱ))

被疑者 ■■■■■■ ←書記官が代書 印

前同日同庁

裁判所書記官 ● ● ● ● (印)

即日勾留通知手続 (□電話 □郵便 □不能)

同日同庁 裁判所書記官

(別紙2)

裁判官認印



勾 留 質 問 調 書

被疑者 ■■■■■■

被疑者に対する●●被疑事件について、令和●年●月●日松戸簡易裁判所において、

裁 判 官 ▲ ▲ ▲ ▲ は、
裁判所書記官 ● ● ● ● を

立ち会わせて、被疑者に対して次のように質問した。

問 氏名、年齢、住居及び職業について述べてください。

答 勾留請求書記載のとおり

裁判官は、終始沈黙し、又は個々の質問に対し陳述を拒むことができる旨を告げ、勾留請求書記載の被疑事実を読み聞かせた。

問 検察官からこのような事実について勾留の請求があったが、これに対して何か述べることはないですか。

答

裁判官は、弁護人選任権を告げ、弁護士、弁護士法人又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先を教示し、また、国選弁護人選任請求権を告げ、弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、千葉県弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨を教示し、勾留した場合の通知先を尋ねたところ、

答 勾留通知は、

だが、被疑者の感染症り患の疑いにより、裁判官の指示により代書した。

以上のとおり読み聞かせたところ、相違ない旨申し立て(署名押印をした。)

● ● ● ● (印)

(事由記載+署名押印(刑訴規61Ⅱ))

被疑者 ■■■■■■ ←書記官が代書 印

前同日同庁

裁判所書記官 ● ● ● ● (印)

即日勾留通知手続(□電話 □郵便 □不能)

同日同庁 裁判所書記官

国選弁護人選任請求書・資力申告書

裁判官 殿

※ 該当する箇所の□印にレ点を付け、必要事項を記入して作成してください。

(注意) 3に記載した合計欄の金額が50万円以上である場合には、この書面を提出して国選弁護人の選任を請求する前に、必ず、千葉県弁護士会に対して、私選弁護人選任の申出をする必要があります。

- 1 次の事件について、2に記載した理由により私選弁護人を選任することができないので、国選弁護人の選任を請求します。

事件名



2 理由

※ (2)ア又はイの□印にレ点を付けた場合で、千葉県弁護士会から通知書を受け取っているときは、この請求書と一緒に提出してください。

☒ (1) 貧困のため

☐ (2) 令和 年 月 日、千葉県弁護士会に対して、私選弁護人の選任を申し出たが、次の理由から選任することができなかったため

☐ ア 千葉県弁護士会から弁護人となろうとする者の紹介を受けられなかった。

☐ イ 紹介された弁護士に弁護人の選任の申込みをしたが拒まれた。

☐ ウ いまだ千葉県弁護士会から連絡がない。

☐ (3) その他の理由 (具体的に書いてください。)

3 資力申告

私の次の資産の合計額 (資力という。) と内訳は、記載したとおりで間違いありません。

(注意) 裁判官の判断を誤らせる目的で、その資力について虚偽の記載をした場合は、10万円以下の過料に処せられることがあります。

内訳	現金	(<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有)	→	約	5000	円)
	金融機関に対する預貯金	(<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有)	→	約	15万	円)
	社内預金等	(<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)	→	約		円)
	金融機関の自己宛小切手	(<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)	→	約		円)
	郵便為替	(<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)	→	約		円)

合計

約15万5000円

※ 金融機関に対する預貯金とは、預金のほか、郵便貯金又は農業協同組合、農業協同組合連合会、漁業協同組合、漁業協同組合連合会、水産加工業協同組合若しくは水産加工業協同組合連合会に対する貯金のことです。

※ 社内預金等とは、使用者 (船員の場合は船舶所有者) に対する貯蓄金又は公務員共済組合、公務員共済組合連合会若しくは日本私立学校振興・共済事業団に対する貯金のことです。

令和 4 年 2 月 22 日

氏 名 松戸 太郎 印
(昭和 66 年 6 月 6 日生)

被疑者の感染症り患の疑いにより、裁判官の指示により代書した。●●●●印

事由記載+署名押印 (刑訴規則61Ⅱ)

※ 以下の欄は、留置担当官、刑事施設・少年鑑別所の職員が記入してください。

- 1 添付書類 ☐ 勾留状・告知調書等の写し ☐ 不在・不受任通知書
- 2 取調べ担当検察官所属の検察庁
- 3 留置・収容場所
- 4 国籍 , 言語 語
- 5 他事件での国選弁護人選任の有無 ☐ 無 ☐ 有 (弁護人名)

